

第1号議案 平成25年度事業報告について

1 南信州公共交通システム認知度向上事業

圏域住民に対して「南信州公共交通システム」を広く周知し、公共交通の必要性の啓発、自家用車主体の生活様式から公共交通主体への変化を促す。

(1) のってみまいか公共交通第6号を12月に発行。46,700部全戸配布（一部組合回覧）

①運動不足解消

②高齢ドライバーによる事故防止

③地域温暖化防止の取り組み

④乗継タクシーとバスを利用した和菓子めぐり

⑤第2次南信州地域公共交通総合連携計画（案）についてのパブリックコメント募集

2 公共交通利用促進・利用転換事業

ターゲット毎に利用促進、利用転換事業を実施し、利用者拡大を図る。

(1) のってみまいか公共交通の発行により、エコ通勤、高齢者ドライバーの利用転換を呼びかけた。

(2) 平成25年度に認定を受けた地域協働推進事業を活用し、ワークショップ、バスの乗り方教室を実施し公共交通の利用促進を図った。

3月12日（水）阿智村高齢者クラブ連合会理事会 を対象に実施

14日（金）大鹿村立中学校3年生を対象に実施

17日（月）天龍村 高齢者会合「あつまらまい会」を対象に実施

3 情報提供事業

公共交通のポータルサイト「南信州公共交通インフォメーション」の積極的なPRを行い、公共交通の利用上必要な情報提供を行うことで、公共交通利用者の利便性向上につなげる。

(1) 第2次南信州地域公共交通総合連携計画（案）のパブリックコメント募集

(2) ツイッターによる公共交通の情報発信

4 各協議会及び市町村等関係各機関と連携した、既存公共交通の改善事業

関係各機関との横の連携を強化し、公共交通の改善を図る。

(1) 市町村担当者会議

第2次南信州地域公共交通総合連携計画（案）に係る担当者会議を開催した。

5月18日（土）第1回市町村担当者会議

7月22日（月）第2回市町村担当者会議

11月14日（木）第3回市町村担当者会議

(2) JR飯田線ダイヤ改正に伴う路線バスシームレスダイヤ調整会議

平成26年2月3日（月）開催

飯田市地域公共交通改善市民会議、阿智村地域公共交通協議会、西部コミュニティバスを守り育てる会、下伊那南部地域公共交通対策協議会、喬木村、豊丘村地域公共交通会議により、結節点の効果的効率的な乗継ぎ調整を図った。

5 第2次南信州地域公共交通総合連携計画の策定

圏域共通の公共交通に関する計画となるため、国、県、名古屋大学、関係機関、市町村が加わっ

た検討委員会を設立し策定を行った。

5月18日（土）第1回計画策定委員会

8月19日（月）第2回計画策定委員会

12月2日（月）第3回計画策定委員会

1月22日（水）第4回計画策定委員会

6 結節点整備事業

円滑な乗り継ぎや乗り換えを効率的に確保するための検討を行った。

平成25年度に認定された地域協働推進事業を活用し、西部地区の結節点停留所「こまんば」バス停留所にわかりやすい路線図と時刻表が一体となった案内板を設置した。



こまんば停留所案内板（下中屋ふとん店側）



こまんば停留所案内板（春木屋側）

7 J R 飯田線の利用促進事業

地域内移動には不可欠な交通手段であり、維持確保に向け促進事業に取り組む。

平成25年度に認定された地域協働推進事業を活用し、J R 飯田線と乗継タクシーの利用促進を絡めて、主に利用の可能性の高い南部地域を対象に周知した。

第1号議案

平成25年度決算報告について

平成25年度 南信州地域交通問題協議会 会計決算書

収入金額 8,986,899 円

支出金額 8,339,967 円

差引残額 646,932 円

(収入)

(単位: 円)

科目	予算額(当初)	流用額	補正予算	予算額(変更)	決算額	比較増減	備考
負担金	2,580,000	0	0	2,580,000	2,580,000	0	南信州広域連合負担金 2,580,000
地域協働推進 事業補助金	0	0	2,146,305	2,146,305	2,146,305	0	国庫補助 結節点整備事業、ワークショップ、 時刻表(8市町村)
市町村負担金 (事業実施団体)	0	0	3,296,160	3,296,160	3,296,160	0	地域協働推進事業(時刻表作成) 飯田市 2,735,250、松川町 261,870 阿南町・下條村・売木村・天龍村・泰阜 村233,100、阿智村 65,940
繰越金	960,992	0	0	960,992	960,992	0	前年度繰越金
諸収入	1,008	0	0	1,008	3,442	2,434	利息、日当戻入金
計	3,542,000	0	5,442,465	8,984,465	8,986,899	2,434	

(支出)

(単位: 円)

科目	予算額(当初)	流用額	補正予算	予算額(変更)	決算額	比較増減	備考
運営費	319,000	270,000	0	589,000	579,078	△ 9,922	
報償費	175,000	56,000	0	231,000	230,630	△ 370	委員等報償費(計画策定委員会4 回、総会2回)
旅費	127,000	-28,000	0	99,000	98,352	△ 648	講師旅費、委員旅費(計画策定委 員会4回、総会2回)
消耗品・事務費	17,000	242,000	0	259,000	250,096	△ 8,904	紙代、通信運搬費、振込手数料等 事業費より242,000円充当
事業費	3,220,000	-270,000	5,442,465	8,392,465	7,760,889	△ 631,576	
事業費 (内訳)	3,220,000	-270,000	3,794,385	6,744,385	6,112,809	△ 631,576	利用促進・利用転換事業(委託、広報誌、結節 点整備事業、ワークショップ、時刻表等) 第2次計画策定(製本印刷、概要版印刷) 消耗品・事務費へ270,000円流用
市町村戻入金 (内訳)	0	0	1,648,080	1,648,080	1,648,080	0	地域協働推進事業補助金(事業実施団体) 飯田市1,367,625、松川町 130,935 阿南町・下條村・売木村・天龍村・泰阜村 116,550、阿智村32,970
予備費	3,000	0	0	3,000	0	△ 3,000	
計	3,542,000	270,000	5,442,465	8,984,465	8,339,967	△ 644,498	

差引残高 646,932 円は次年度に繰り越します。

平成25年度南信州地域交通問題協議会収入支出決算監査報告書

平成25年度南信州地域交通問題協議会会計の収入支出決算について監査したところ、諸帳簿、証拠書類ともに整備され、正確に処理されていることを認めます。

平成26年 5 月 26 日

監 事 飯田商工会議所

会 頭 柴 田 忠 昭



平成26年 6 月 4 日

監 事 社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会

会 長 福 田 富 廣



第2号議案 平成26年度事業計画（案）について

1 南信州公共交通システム認知度向上事業 事業費 800 千円

圏域住民に「南信州公共交通システム」を広く周知し、自家用車主体の生活様式から、公共交通を交通手段のひとつの選択肢と意識付けするための利用促進・転換事業の推進を行う。

(1) 南信州圏域バス路線の整理（路線カラー、ナンバリングの整理）を行う。

(2) 広報誌の発行（No.7 発行H26年7月15日、No.8 発行H27年1月）

『のってみまいか公共交通』を発行し公共交通利用への関心を高める。今年度から、南信州広域連合が発行している『すきです南信州』に公共交通のコーナーとして掲載する。

(3) バス停留所の統一化に関する研究を行う。

2 情報提供事業 事業費 710 千円

(1) 「南信州公共交通インフォメーション」を活用し当圏域の公共交通情報の発信や、利用者に分かりやすい路線図、時刻表を作成することで公共交通利用者の利便性向上につなげる。

(2) 基幹路線・准基幹路線時刻表及び路線図の作成〔地域協働推進事業活用〕

地域協働推進事業を活用し、圏域全体の基幹・准基幹路線時刻表を作成し公共交通利用者の利便性向上につなげる。

3 各協議会及び市町村等関係各機関と連携した、既存公共交通の改善事業・利便性向上事業

事業費 0 千円

公共交通をより利用しやすいものとするため、当圏域における関係各機関と連携し改善を図る。

(1) 関係各機関との情報交換等の実施により、既存公共交通の運行見直しや乗り継ぎの改善を図る。

(2) 各関係機関のはたすべき役割に対し側面的支援または協働実施する。

(3) リニア中央新幹線開業を見据えた新たな公共交通網の基盤づくりに関する検討・研究を行う。

4 公共交通利用促進・利用転換事業 事業費 800 千円

ターゲットごとに利用促進、利用転換事業を実施し利用者拡大を図る。

(1) エコ通勤

飯田商工会議所と連携し、エコ通勤の啓発活動や勧奨を行う。

(2) 名古屋大学と連携し利用促進・利用転換につながる事業の検討を行う。

5 北部地区結節点停留所整備事業 事業費 1,000 千円〔地域協働推進事業活用〕

地域協働推進事業を活用し北部地区の結節点停留所に乗り継ぎ案内板を整備する。

6 JR 飯田線の利用促進事業 事業費 200 千円〔地域協働推進事業活用〕

JR 飯田線活性化期成同盟会をはじめとする、沿線市町村、関係各機関とともに維持確保に向けた利用促進の取り組みの検討・啓発活動を行う。

第2号議案 平成26年度予算(案)について

平成26年度 南信州地域交通問題協議会 会計予算(案)

収入金額	3,939,000 円
支出金額	3,939,000 円
差引残額	0 円

(収入)

科目	H26予算	H25予算	比較増減	備考
負担金	3,291,000	2,580,000	711,000	南信州広域連合負担金 3,291千円
繰越金	646,932	960,992	△ 314,060	前年度繰越金
諸収入	1,068	1,008	60	
計	3,939,000	3,542,000	397,000	

(支出)

(単位：円)

科目	H26予算	H25予算	比較増減	備考
運営費	423,000	319,000	104,000	
報償費	248,000	175,000	73,000	委員等報償費等
旅費	130,000	127,000	3,000	講師・委員の旅費、交通費等
消耗品・事務費	45,000	17,000	28,000	通信運搬費、振込手数料
事業費	3,510,000	3,220,000	290,000	1 南信州公共交通システム認知度向上事業 800千円 2 情報提供事業 710千円 3 関係機関との連携、改善事業 —円 4 公共交通利用促進・利用転換事業 800千円 5 結節点整備事業 1,000千円 6 JR飯田線の利用促進事業 200千円
予備費	6,000	3,000	3,000	
計	3,939,000	3,542,000	397,000	

予算の執行上必要があるときは、科目間の流用ができるものとする。

飯田市 生活交通ネットワーク計画

<地域間幹線系統>

- ・平成26年度生活交通ネットワーク計画・事業自己評価 . . . P 8-1
- ・生活交通ネットワーク計画（平成27～29年度） . . . P 8-2～8-5
- ・表1 . . . P 8-6

<地域内フィーダー系統>

- ・平成26年度生活交通ネットワーク計画・事業自己評価 . . . P 8-7
- ・生活交通ネットワーク計画（平成27～29年度） . . . P 8-8～8-12
- ・表1 . . . P 8-13

松川町 生活交通ネットワーク計画

<地域内フィーダー系統>

- ・平成 26 年度生活交通ネットワーク計画・事業自己評価
・・・ P 10-1 ~ 10-2

- ・生活交通ネットワーク計画（平成 26~28 年度）・・・ P 10-3 ~ 10-9

- ・表 1 ・・・ P 10-10 ~ 9-8

- ・平成 27 年度生活交通ネットワーク計画・事業自己評価
・・・ P 10-9 ~ 10-2

- ・生活交通ネットワーク計画（平成 27~29 年度）・・・ P 10-3 ~ 10-9

- ・表 1 ・・・ P 10-10 ~ 10-

松川町地域公共交通対策協議会

下伊那郡南部地域 生活交通ネットワーク計画

<地域内フィーダー系統>

- ・平成 26 年度生活交通ネットワーク計画・事業自己評価
・・・ P 10-1 ~ 10-2
- ・生活交通ネットワーク変更計画（平成 26 年度天龍村追加）
・・・ P 10-3 ~ 10-9
- ・表 1 ・・・ P 10-10
- ・生活交通ネットワーク計画（平成 27~29 年度）
・・・ P 10-11 ~ 10-17
- ・表 1 ・・・ P 10-18
- ・表 6（車両取得計画の概要） ・・・ P 10-19

下伊那南部地域公共交通対策協議会

阿智村地域 生活交通ネットワーク計画

<地域内フィーダー系統>

- ・平成26年度生活交通ネットワーク計画・事業自己評価 . . . P 11-1
- ・生活交通ネットワーク計画（平成27～29年度） . . . P 11-2～11-5
- ・表1 . . . P 11-6～11-7

阿智村地域公共交通協議会

豊丘村 生活交通ネットワーク計画

<地域内フィーダー系統>

- ・平成 26 年度生活交通ネットワーク計画・事業自己評価 . . . P 1 2-1
- ・生活交通ネットワーク計画（平成 27～29 年度）. . . P 1 2-2～1 2-5
- ・表 1 . . . P 1 2-6

豊丘村地域公共交通会議

根羽村・平谷村地域 生活交通ネットワーク計画

<地域内フィーダー系統>

- ・平成 26 年度生活交通ネットワーク計画・事業自己評価 . . . P 13-1
- ・生活交通ネットワーク計画（平成 27～29 年度）. . . P 13-2～13-7
- ・表 1 . . . P 13-8

西部コミュニティバスを守り育てる会

大鹿村 生活交通ネットワーク計画

【新規申請】

<地域内フィーダー系統>

- ・生活交通ネットワーク計画（平成 26～28 年度）・・・P 1 4-1～1 4-4

- ・表 1 ・・・P 1 4-5

- ・生活交通ネットワーク計画（平成 27～29 年度）・・・P 1 4-6～1 4-9

- ・表 1 ・・・P 1 4-1 0

大鹿村地域公共交通会議

4-(1)

平成25年度輸送実績

H25年4月～H26年3月
(単位：人)

路線バス

路線体系	路線名	H25	H24	比較	
		4月～3月	4月～3月	増減数	前年度比
基幹	阿島線	18,825	16,750	2,075	112.4%
〃	駒場線	192,787	186,810	5,977	103.2%
〃	阿南線（温田線含む）	44,550	44,080	470	101.1%
准基幹	遠山郷線	16,430	13,664	2,766	120.2%
〃	平岡線	1,542	919	623	167.8%
〃	西部コミュニティバス	12,843	10,809	2,034	118.8%
〃	大鹿線	9,092	9,726	▲ 634	93.5%
支線	市民バス循環線	84,094	84,195	▲ 101	99.9%
〃	市民バス大休線	4,525	4,506	19	100.4%
〃	市民バス千代線	2,725	2,704	21	100.8%
〃	市民バス久堅線	2,145	1,810	335	118.5%
〃	市民バス三穂線	2,523	3,237	▲ 714	77.9%
〃	上片桐循環線	7,360	6,347	1,013	116.0%
〃	大島循環線	4,731	5,034	▲ 303	94.0%
〃	生田循環線	6,663	7,047	▲ 384	94.6%
〃	生田線	11,358	12,575	▲ 1,217	90.3%
〃	部奈線	6,462	6,317	145	102.3%
〃	泰阜線	830	799	31	103.9%
〃	阿南町民バス	9,237	10,339	▲ 1,102	89.3%
〃	伍和・智里東	6,885	7,972	▲ 1,087	86.4%
〃	春日・智里西	5,321	5,580	▲ 259	95.4%
〃	清内路	7,317	7,992	▲ 675	91.6%
〃	浪合	2,219	2,241	▲ 22	99.0%
〃	天龍村営バス	3,828	4,034	▲ 206	94.9%

路線体系	路線名	H25	H24	比較	
		4月～3月	4月～3月	増減数	前年度比
支線	氏乗線	4,917	3,852	1,065	127.6%
〃	喬木大島線	3,135	3,329	▲ 194	94.2%
〃	堀越線	1,885	2,464	▲ 579	76.5%
〃	佐原線	2,227	1,970	257	113.0%
〃	壬生沢線	83	419	▲ 336	19.8%
〃	福島線	293	53	240	552.8%
〃	壬生沢福島線	610	762	▲ 152	80.1%
〃	滝川阿島北線	671	441	230	152.2%
	バス（福祉バス除く）	478,113	468,777	9,336	102.0%

乗合タクシー

路線体系	路線名	H25	H24	比較	
		4月～3月	4月～3月	増減数	前年度比
基幹	上市田線	2,795	2,568	227	108.8%
支線	かざこし線	2,141	1,995	146	107.3%
〃	三穂線	3,770	3,427	343	110.0%
〃	川路線	1,672	1,531	141	109.2%
〃	竜東線	8,360	8,256	104	101.3%
〃	遠山郷線	572	331	241	172.8%
〃	上村線	239	255	▲ 16	93.7%
〃	下栗線	287	298	▲ 11	96.3%
〃	須沢線	151	191	▲ 40	79.1%
〃	上島線	91	126	▲ 35	72.2%
〃	八重河内線	889	979	▲ 90	90.8%
〃	平岡線	3,832	2,871	961	133.5%
	乗合タクシー（通学支援タクシー除く）	24,799	22,828	1,971	108.6%
	合計	24,799	22,828	1,971	108.6%

平成25年度学生・一般輸送実績

H25年4月～H26年3月

学生・一般別

(単位：人)

路線体系	路線名	H25	学生		一般	
		4月～3月	輸送数 4月～3月	占有率	輸送数	占有率
支線	泰阜線	830	661	79.6%	169	20.4%
〃	堀越線	1,885	433	23.0%	1,452	77.0%
〃	佐原線	2,227	762	34.2%	1,465	65.8%
〃	壬生沢線	83	35	42.2%	48	57.8%
〃	福島線	293	293	100.0%	0	0.0%
〃	壬生沢福島線	610	316	51.8%	294	48.2%
〃	滝川阿島北線	671	636	94.8%	35	5.2%
	バス（福祉バス除く）	6,599	3,136	47.5%	3,463	52.5%

〈考察〉

バス・乗合タクシーの全体輸送実績は今年度も増加しており、体系別にみても基幹路線・准基幹路線の利用者が増加している。この結果から、飯田市中心部への移動の手段としてバスを利用している人が多いことが分析できる。また、遠山郷線、平岡線は定期券の販売数が伸びており、輸送実績にも反映している。

豊丘村地域公共交通会議が運行している福島線は前年度比552.8%と急激な増加が見られるが、スクールバスを兼ねており中学生が毎日の通学に利用したことが影響している。滝川阿島北線においても学生の通学者が大半を占めている。輸送実績の分析においては、学生と一般との属性を分類することにより利用促進のターゲット層の分析が可能となるが、H25年度においては、上記7路線での把握しかできていない状況である。今後、当圏域に見合った属性把握の方法を検討・研究する必要がある。

4-(2)

定期券販売実績

定期券販売枚数 (系統別)

(単位：枚)

路線名・系統名	H25	H24	比較	
	4月～3月	4月～3月	増減数	前年度比
駒場線	1,371	1,374	▲ 3	99.8%
駒場線飯田高校系統	539	499	40	108.0%
市立病院経由駒場線	205	186	19	110.2%
阿島線	31	16	15	193.8%
遠山郷線	89	57	32	156.1%
平岡線	32	4	28	800.0%
久堅線	8	6	2	133.3%
三種線	1	0	1	—
千代線	11	0	11	—
合計	2,287	2,142	145	106.8%

定期券販売額

(単位：千円)

路線名・系統名	H25	H24	比較	
	4月～3月	4月～3月	増減額	前年度比
飯田市 (一般)	2,794	3,347	▲ 553	83.5%
飯田市 (学生)	23,967	24,876	▲ 909	96.3%
合計	26,761	28,223	▲ 1,462	94.8%

路線バス回数券販売実績

回数券販売額

(単位：千円)

	H25	H24	比較	
	4月～3月	4月～3月	増減額	前年度比
飯田市運行路線バス回数券 (一般) 販売実績	4,682	4,751	▲ 69	98.5%
飯田市運行路線バス回数券 (学生) 販売実績	5,387	7,034	▲ 1,647	76.6%
松川町運行路線バス回数券 (一般) 販売実績	4	—	—	—
松川町運行路線バス回数券 (学生) 販売実績	50	—	—	—
下伊那南部運行路線バス回 数券販売実績	4,020	3,774	246	106.5%
阿智村運行路線バス回数券 販売実績	2,117	2,275	▲ 158	93.1%
西部コミュバス運行路線バス回 数券販売実績	922	632	290	145.9%
大鹿村運行路線バス回数券 (敬老) 販売実績	130	140	▲ 10	92.9%
合 計	17,312	18,606	▲ 1,294	93.0%

タクシー回数券販売実績

(単位：千円)

	H25	H24	比較	
	4月～3月	4月～3月	増減額	前年度比
タクシー回数券販売実績	1,969	2,023	▲ 54	97.3%

【定期券】

◇全体の定期券販売枚数は前年度より増加した。また定期券の販売が増加した路線では、輸送実績も増加している状況である。

阿島線と駒場線は輸送実績では両便とも増加しているが、駒場線での定期券販売数はわずかであるが前年度に至らなかった。理由としては、駒場線の利用者である高校生の減少が影響を与えたものと考えられる。

定期券販売額については150万弱ほど収入が減少している。エリア制の運賃改正により、バスを利用しやすくなった反面、収入面には影響が現れている。

【路線バス回数券】

◇南部公共バスの回数券販売額が増えている一方、飯田市運行路線バスの学生回数券の売上げが減少している。引き続き回数券の利用促進に努めていきたい。

【タクシー回数券】

◇今年度の回数券販売数は昨年度に比べ若干であるが減少した。輸送実績としては昨年度に比べ増加しているため、地道な広報活動が実を結び新規利用での現金利用が多いと思われる。今後は、回数券のお得度をしっかり周知し利用者の定着を促進したい。

◇タクシー回数券：1,000円で100円券12枚綴り（65歳以上・学生は1,000円で100円券13枚綴り）

南信州地域交通問題協議会地域協働推進事業計画 新旧対照表

改正	現行
<p>別表 1-1 地域協働推進事業実施に際しての定量的目標 定量的目標を設定する地域 阿南町、下條村、売木村、泰阜村、天龍村 定量的目標 <u>阿南町、温田線、泰阜線の系統ごとの輸送人数をH25年度の輸送人数に對比し毎年1.5%増加させる。</u> <u>天龍村営バス「神原線」は、輸送人数の減少を過去2年間（H24、H25年度）の減少率9.6%を下回らないよう地域協働推進事業を活用し6%以内に抑制する。</u></p> <p>別表 様式第5-1-1 地域協働推進事業において実施する事業 2年目（H26年度） 圏域全体の路線図を考慮しながら、結節点である喬木村、<u>交流センター停留所の利用環境改善を行い、分かりやすい案内整備、利用しやすい環境改善を行う。</u></p> <p>3年目（H27年度） <u>前年度に引き続き圏域全体の路線図を考慮しながら、利用しやすい環境改善を行う。</u> <u>分かりやすい案内板を整備し、既存バス停留所とJR飯田線駅の結節を図り相互の利便性向上、利用環境改善を行う。</u></p> <p>4年目以降（H28～30年度） <u>前年度に引き続き圏域全体の路線図を考慮しながら、利用しやすい環境改善を行う。</u> <u>分かりやすい案内板を整備し、既存バス停留所とJR飯田線駅の結節を図り相互の利便性向上、利用環境改善を行う。</u></p>	<p>別表 1-1 地域協働推進事業実施に際しての定量的目標 定量的目標を設定する地域 阿南町、下條村、売木村、泰阜村、天龍村 定量的目標 前年度輸送人数を維持もしくは上回ることを目標とする</p> <p>別表 様式第5-1-1 地域協働推進事業において実施する事業 2年目（H26年度） 圏域全体の路線図を考慮しながら、結節点である喬木村、北消防センター前停留所の利用環境改善を行い、分かりやすい案内整備、利用しやすい環境改善を行う。</p> <p>3年目（H27年度） 前年度に引き続き圏域全体の路線図を考慮しながら、結節点である喬木村、交流センター停留所の利用環境改善を行い、分かりやすい案内板整備、利用しやすい環境改善を行う。</p> <p>4年目以降（H28～30年度） 前年度に引き続き圏域全体の路線図を考慮しながら、結節点である阿南町、車庫前停留所の利用環境改善を行い、分かりやすい案内板整備、利用しやすい環境改善を行う。</p>

様式第5-13（日本工業規格A列4番）

26南交通第14-2号

平成26年6月20日

国土交通大臣 殿

住 所 長野県飯田市追手町2丁目678

氏名又は名称 南信州地域交通問題協議会 印

会 長 牧野 光朗

平成26年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金

（地域協働推進事業）交付申請書

平成26年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域協働推進事業）金2,749,896円を
交付されるよう、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）第5条
の規定に基づき、別紙関係書類を添えて申請します。

平成26年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
(地域協働推進事業) 交付申請事業

補助対象事業者名 南信州地域交通問題協議会

(単位:円)

補助対象事業の 名称及び内容	補助対象事業の 着手及び完了予定日	補助対象経費	補助金額
(名称) ・公共交通利用促進の利 便性の改善及び情報提 供事業 (内容) ・バス路線・乗合タクシ ーの総合時刻表・ルート マップの作成 ・路線図を掲載した、わ かりやすい案内板整備 ・ワークショップの開催 及びバスの乗り方教室 の実施	(着手予定日) 交付決定日以降 (完了予定日) 平成27年3月31日	5,499,792	2,749,896

(注) 着手予定日及び完了予定日については、補助金を受けようとする年度について記載すること。

(添付書類)

- (1) 認定を受けた地域協働推進事業計画の写し
- (2) 地域協働推進事業の実施に関する計画
- (3) 補助対象経費の算出根拠
- (4) その他補助金の交付に関して参考となる書類

地域協働推進事業の実施に関する計画

1. 地域協働推進事業の内容	
実施項目	実施内容
・バス路線・乗合タクシーの総合時刻表・ルートマップの作成	<p>◇今まで作成していなかった、圏域の基幹バス路線及び准基幹路線バスの総合時刻表を作成し、乗り継ぎ。乗り換え情報を周知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷部数 47,000 部、全戸配布 <p>◇前年度を踏まえ乗り継ぎ等による課題を検討し、平成 27 年 4 月改正のバス路線の総合時刻表・ルートマップをより円滑な乗り継ぎや乗り換えを効率的に確保するため、シームレスダイヤを考慮し作成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯田地区、北部地区（松川町）、西部地区（阿智村、根羽村）、南部地区（阿南町、下條村、売木村、天龍村、泰阜村）4 地区におけるバス・乗合タクシーの総合時刻表の作成。 ・印刷総数は飯田地区（バス 54,000 部、乗合タクシー 82,040 部）、北部地区（4,700 部）、西部地区（2,600 部）、南部地区（6,000 部）を予定。 ・配布先は路線利用者高校、病院、福祉施設、券売所及び市町村窓口に配備する。
・路線図を掲載した、わかりやすい案内板整備	<p>複数のコミュニティバスが乗り入れる結節点停留所に、関係する路線図を掲載したわかりやすい案内板を整備し利用環境改善を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 停留所 1 カ所（喬木村、交流センター停留所）に設置
・ワークショップの開催及びバスの乗り方教室の実施	<p>北部地区（喬木村、豊丘村）、西部地区（阿智村・平谷村・根羽村）、大鹿村、天龍村住民を対象としたワークショップ及び乗り方教室を開催し、公共交通の必要性の啓発活動や主体の生活から公共交通の利用行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部地区（喬木村、豊丘村）、西部地区（阿智村、平谷村、根羽村）、天龍村、大鹿村の住民を対象としたワークショップ開催する。 ・主に中学生を対象としたバスの乗り方教室を実施、バスの乗り方・マナーなどについて説明する。 <p>バスの乗り方教室の学習教材の作成、3,000 部</p>

（注）認定を受けた地域協働推進事業計画のうち、地域協働推進事業費補助金を受けて実施しようとする事業について記載すること。以下の各項目について同じ。

2. 年度スケジュール				
実施項目	4 月	9 月	1 2 月	3 月
・バス路線・乗合タクシーの総合時刻表・ルートマップの作成		—————→		
・路線図を掲載した、わかりやすい案内板整備		—————→		
・ワークショップの開催及びバスの乗り方教室の実施		—————→		

3. 予算計画			
事業の名称	補助対象経費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
・バス路線・乗合タクシーの 総合時刻表・ルートマップの 作成	4,207 千円	2,103 千円	2,104 千円
・路線図を掲載した、わかり やすい案内板整備	990 千円	495 千円	495 千円
・ワークショップの開催及び バスの乗り方教室の実施	302 千円	151 千円	151 千円
合計	5,499千円	2,749千円	2,750千円

4-(4)

事業計画〔毎年度〕評価及び第2次総合連携計画〔5カ年〕評価策定に関するスケジュール(案)

年度	年月	総会	市町村担当者会議	幹事会	内容	詳細
26	平成26年6月25日(水)	総会			H26年度予算(案)・事業計画(案)の承認、生活交通ネットワーク計画の承認など	評価策定に関するスケジュールの提示
	9月上旬		市町村担当者会議		平成26年度事業評価・第2次総合連携計画の評価フォーマットの提示及び検討	評価項目・点数(案)の検討
	10月上旬			第1回幹事会	平成26年度事業評価・第2次総合連携計画の修正評価フォーマットの検討	評価項目・点数(案)の検討及び確定
	2月上旬			第2回幹事会	平成26年度事業評価	
27	6月下旬	総会			平成26年度事業評価報告・連携計画の評価方法の報告	平成26年度事業評価報告・連携計画の評価方法の報告、H27年度予算(案)・事業計画(案)の承認、生活交通ネットワーク計画の承認など

※議案によっては、上記に限らず随時開催する。

南信州地域交通問題協議会 幹事会名簿

平成26年6月25日現在

(敬称略)

区 分	所属団体等	委員名		備 考
		役 職	氏 名	
公共交通利用者 (住民代表)	飯田市地域公共交通改善市民会議	会長	湯澤 英範	
	松川区長会	区長会長・生東区長	下澤 政弥	
	阿南町	阿南町老人クラブ連合会・会長	酒井 政勝	
	阿智村	智里東自治会長	篠原 謙司	
公共交通 事業者	東海旅客鉄道(株)飯田支店	副長	梶川 建一	
	信南交通(株)	高速乗合課長	林 浩人	
	伊那バス株式会社	管理課長	福澤 信義	
	長野県タクシー協会下伊那支部	支部長	鈴木 佳史	南信州広域タクシー
学校関係	下伊那地区高等学校長会 (会長：長野県阿智高等学校長)	教 頭	佐藤 純也	
商工関係	飯田商工会議所	総務部長	佐々木 正樹	
	長野県商工会連合会南信州支部広域協議会	チームリーダー	清水 衆一	
学識経験者等	名古屋大学大学院	環境学研究科 都市環境学専攻 准教授	加藤 博和	
行 政	飯田市	リニア推進課長	細田 仁	
	松川町	まちづくり推進課長	斉藤 和勇	
	阿智村	阿智村 総務課長	牛山 明彦	
	阿南町	総務課長	澤田 智	
	南信州広域連合	事務局長	渡邊 嘉藏	

市町村担当者名簿

(敬称略)

自治体名	担当課	役 職	氏 名	備 考
飯田市	リニア推進課 交通政策係	主事	壬生 庸佑	
松川町	松川町 まちづくり推進課	主任	大澤 充	
高森町	総務課 防災安全係	主査	木村 彰宏	
阿南町 (下伊那南部総合事務組合)	総務課	庶務係長	宮島 正樹	
阿智村	総務課	主事	小松 史香	
平谷村	総務課	課長	塚田 浩	
根羽村	総務課	係長	鈴木 秀和	
下條村	総務課	主査	久保田 克郎	
売木村	総務課	主幹	村松 益隆	
天龍村	企画課 企画財政係	係長	斉藤 正宏	
泰阜村	総務課 村づくり振興室	係長	上垣 喜彦	
喬木村	企画課 企画財政係	主事	白井 智也	
豊丘村	総務課	係長	松村 幸紀	
大鹿村	総務課	係長	宮坂 浩二	